



平成18年2月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年1月6日

上場会社名 株式会社 ローソン

（コード番号：2651 東証・大証第一部）

（URL <http://www.lawson.co.jp/company/ir/index.html>）

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長

新浪 剛

責任者役職・氏名 執行役員財務経理ステーションディレクター

森本 憲治

TEL：(03)5435-2773

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

税金費用の計算等については、一部簡便な方法を採用しております。

②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

当第1四半期から固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を早期適用しております。これにより、税金等調整前第3四半期純利益は1,876百万円減少しております。

③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

連結（新規） 1社

2. 平成18年2月期第3四半期財務・業績の概況（平成17年3月1日～平成17年11月30日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満切捨て）

	営業総収入		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年2月期第3四半期	203,173	6.2	36,127	4.8	35,987	6.7
17年2月期第3四半期	191,256	2.4	34,461	12.4	33,723	15.1
（参考）17年2月期	254,395	3.6	42,941	12.7	42,322	15.8

	四半期(当期)純利益		1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年2月期第3四半期	18,307	6.2	179	17	179	11
17年2月期第3四半期	17,242	13.1	167	04	—	—
（参考）17年2月期	20,435	10.0	198	47	—	—

（注）営業総収入、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期（平成17年3月1日～平成17年11月30日までの9ヶ月間）におけるわが国経済は、個人消費や住宅投資の牽引により平成17年3-9月のGDPが実質・名目ともプラスとなったことなどから、景気回復期待が高まっております。しかし、GDPデフレーターはマイナスのままであり、関東や中部の景気回復傾向に比して、その他の地方経済は厳しい状態が続いており、景況感も全国一律の物差しでは計れない状況となっております。

平成17年9月から11月の3ヶ月における、当社グループの状況につきましては、9、10月と平年より暖かかった反面、11月に急に寒さが訪れるなど、平年と異なる天候の変動があったこと、そして9月中旬からのハイウェイカードの販売中止の影響などもあり、当3ヶ月間の既存店売上高は前年同期比100.0%を割り込むなど、厳しい結果となりました。しかし、キャンペーンに安易に依存しない、収益重視の営業体質への改革が奏効し、当社が重視しております既存店値入高前年比につきましては、売上高の前年同期比より高い水準で推移いたしました。

まず、商品に関しては、「お弁当の中にスープを入れる」という新しいアイデアで、日本の伝統的な食文化である『一汁三菜』というスタイルを提案した、ごはん亭新シリーズを開発したほか、発売以来3年を経過しました「おにぎり屋」については、「基本に帰る」とのコンセプトにより定番商品の導入を行いました。また、ファストフード商品群については、上海のローソンで大人気の「串おでん」を提供するなど、新商品を積極的に投入し、店舗での積極的な販売活動もあいまって、引き続き二桁近い伸長率を示しました。

店舗運営に関しては、店舗の属する「マチ（地域）」に合った品揃えを目指し、個店ごとのお客様情報の収集・分析につとめた上で、フランチャイズ（FC）店舗における発注精度の向上を目標に、店舗での仮説発注をバックアップするスーパーバイザー（店舗指導員）の活動支援の更なる充実を図っております。

店舗開発に関しては、基幹フォーマット「ローソン」、34店を数える「美と健康」志向フォーマット「ナチュラルローソン」の2フォーマットに加え、平成17年5月スタートの、「ミニスーパー+CVS（コンビニエンスストア）」というコンセプトで生鮮品の取り扱いに特徴を持つ「LAWSON STORE100」も11月末で15店に達しました。地域のお客様のニーズに柔軟に対応できる3つのフォーマットを最大限に活用し、マチ（地域）に合った最適なフォーマットでの出店を行う態勢を確立し、実践してまいりました。「ナチュラルローソン」「LAWSON STORE100」の展開により、従来型のCVSでは十分ニーズを取り込めていなかった女性や50才以上の中・高齢者に合った商品を提供することで、客層の拡大による持続的な収益成長を目指しております。

また、多様な立地への出店を目指す戦略の一環として、平成17年11月には東京急行電鉄株式会社と業務提携を結び、平成18年夏の第一号店をスタートに今後、駅型コンビニエンスストアを共同で業態開発していくことで合意いたしました。

これらの結果、当第3四半期のチェーン全店売上高は店舗数の増加などにより、1兆384億4千8百万円（前年同期比3.2%増）となり、経常利益は、加盟店からのロイヤリティ収入の増加や子会社の㈱ローソン・エイティエム・ネットワークスの営業収入が増加したことなどにより、359億8千7百万円（前年同期比6.7%増）、第3四半期純利益は183億7百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

【商品群別売上状況（チェーン全店）】

商品群別	前第3四半期 (平16. 3. 1～16. 11. 30)		当第3四半期 (平17. 3. 1～17. 11. 30)		前年 同期比
	売上高	構成比率	売上高	構成比率	
	百万円	%	百万円	%	%
加工食品	505,635	50.3	519,988	50.1	102.8
ファストフード	225,397	22.4	237,677	22.9	105.4
日配食品	113,973	11.3	116,956	11.2	102.6
非食品	161,364	16.0	163,827	15.8	101.5
合計	1,006,369	100.0	1,038,448	100.0	103.2

(注)上記には、ナチュラルローソン及びLAWSON STORE100の売上高を含んでおります。

【店舗開発の状況】

地域別店舗分布状況（平成17年11月30日現在）

地域別	店舗数	地域別	店舗数	地域別	店舗数	地域別	店舗数	地域別	店舗数
北海道	500	埼玉県	326	岐阜県	88	鳥取県	70	佐賀県	57
青森県	136	千葉県	286	静岡県	151	島根県	62	長崎県	81
岩手県	169	東京都	818	愛知県	341	岡山県	114	熊本県	87
宮城県	159	神奈川県	479	三重県	76	広島県	119	大分県	110
秋田県	132	新潟県	106	滋賀県	116	山口県	110	宮崎県	81
山形県	54	富山県	101	京都府	178	徳島県	102	鹿児島県	110
福島県	97	石川県	71	大阪府	830	香川県	96	沖縄県	125
茨城県	108	福井県	74	兵庫県	471	愛媛県	148	合計	8,272
栃木県	103	山梨県	63	奈良県	96	高知県	54	参考：上海市	263
群馬県	69	長野県	137	和歌山県	109	福岡県	302		

（注）1. 上記には、ナチュラルローソンの34店舗、LAWSON STORE100の15店舗を含んでおります。

2. 持分法適用会社である上海華聯羅森有限公司については、同社の第3四半期決算日（平成17年9月30日）現在の店舗数を記載しております。

（2）財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第3四半期	375,751	171,176	45.6	1,674 41
17年2月期第3四半期	356,997	157,060	44.0	1,537 14
（参考）17年2月期	356,309	160,282	45.0	1,568 66

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年2月期第3四半期	45,819	△45,779	△7,777	68,847
17年2月期第3四半期	41,606	△29,780	△13,836	74,379
（参考）17年2月期	47,328	△33,297	△13,836	76,584

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第3四半期の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は194億4千2百万円増加し、株主資本は108億9千4百万円増加しました。この結果、株主資本比率は45.6%となりました。

（キャッシュ・フロー計算書）

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前第3四半期純利益を322億8千9百万円計上したことや、仕入債務や預り金の増加の影響などにより、458億1千9百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の満期償還による250億6千万円の収入がありましたが、有価証券や有形固定資産を取得したことなどにより、457億7千9百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより77億7千7百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期末残高は前連結会計年度末と比べ77億3千6百万円減少し、688億4千7百万円となりました。

3. 平成18年2月期の連結業績予想（平成17年3月1日～平成18年2月28日）

平成18年2月期の連結業績予想につきましては、平成17年10月12日中間決算発表時の見通しを変えておりません。

（注）なお、上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により上記の業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

〔参 考 資 料〕

平成18年2月期 個別第3四半期財務・業績の概況（平成17年3月1日～平成17年11月30日）

（１）経営成績（個別）の進捗状況

（百万円未満切捨て）

	営業総収入（チェーン全店売上高）		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年2月期第3四半期	188,436（1,037,860）	4.6（3.1）	35,736	6.2	35,543	6.1
17年2月期第3四半期	180,220（1,006,369）	2.7（3.6）	33,650	10.1	33,494	11.5
17年2月期	239,534（1,329,077）	3.6（3.4）	42,220	11.0	42,237	12.2

	四半期（当期）純利益		1株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益	
	百万円	%	円	銭	円	銭
18年2月期第3四半期	18,711	7.9	183	11	183	06
17年2月期第3四半期	17,337	7.7	167	96	—	—
17年2月期	20,585	8.2	199	93	—	—

（注）営業総収入、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

（２）財政状態（個別）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第3四半期	368,387	175,240	47.6	1,714 16
17年2月期第3四半期	351,238	160,695	45.8	1,572 71
17年2月期	350,180	163,991	46.8	1,604 97

（３）平成18年2月期の個別業績予想（平成17年3月1日～平成18年2月28日）

平成18年2月期の個別業績予想につきましては、平成17年10月12日中間決算発表時の見通しを変えておりません。

（注）なお、上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により上記の業績予想とは異なることがありますことをご承知おきください。

第3四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (平成16年11月30日現在)		当第3四半期 連結会計期間 (平成17年11月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成17年2月28日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%
流動資産						
現金及び預金	70,382		69,347		71,585	
加盟店貸勘定	11,521		11,753		10,332	
有価証券	19,006		23,467		13,021	
たな卸資産	1,658		1,693		1,376	
未収入金	14,700		16,761		18,725	
繰延税金資産	2,842		3,380		3,240	
その他	13,204		11,559		10,393	
貸倒引当金	△93		△81		△81	
流動資産合計	133,222	37.3	137,882	36.7	128,592	36.1
固定資産						
有形固定資産						
建物及び構築物	62,657		71,819		67,042	
工具器具備品	18,826		18,039		18,810	
土地	5,643		5,188		5,643	
その他	1,347		1,057		668	
有形固定資産合計	88,475	24.8	96,104	25.6	92,165	25.9
無形固定資産	13,694	3.8	15,673	4.2	14,010	3.9
投資その他の資産						
投資有価証券	947		2,539		1,464	
差入保証金	90,026		90,067		89,964	
繰延税金資産	6,788		9,192		8,291	
再評価に係る繰延税金資産	4,828		3,330		4,828	
その他	20,869		25,597		21,129	
貸倒引当金	△1,856		△4,636		△4,137	
投資その他の資産合計	121,604	34.1	126,090	33.5	121,541	34.1
固定資産合計	223,774	62.7	237,868	63.3	227,716	63.9
資産合計	356,997	100.0	375,751	100.0	356,309	100.0

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (平成16年11月30日現在)		当第3四半期 連結会計期間 (平成17年11月30日現在)		前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成17年2月28日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
買掛金	71,800		72,046		62,554	
加盟店借勘定	3,075		2,955		3,982	
未払金	10,063		10,485		13,021	
未払法人税等	7,791		5,761		11,717	
預り金	43,341		47,702		40,269	
賞与引当金	1,409		1,594		2,788	
ポイント引当金	438		662		409	
その他	4,076		4,610		3,187	
流動負債合計	141,997	39.8	145,816	38.8	137,931	38.7
固定負債						
退職給付引当金	1,575		2,568		1,807	
役員退職慰労引当金	273		255		304	
預り保証金	52,425		51,664		52,334	
長期リース資産減損勘定	—		112		—	
その他	184		294		159	
固定負債合計	54,458	15.2	54,894	14.6	54,606	15.3
負債合計	196,456	55.0	200,711	53.4	192,537	54.0
(少数株主持分)						
少数株主持分	3,480	1.0	3,863	1.0	3,490	1.0
(資本の部)						
資本金	58,506	16.4	58,506	15.6	58,506	16.4
資本剰余金	41,523	11.6	41,520	11.0	41,523	11.7
利益剰余金	73,528	20.6	84,656	22.5	76,721	21.6
土地再評価差額金	△7,037	△2.0	△4,854	△1.2	△7,037	△2.0
その他有価証券評価差額金	61	0.0	628	0.2	110	0.0
為替換算調整勘定	53	0.0	82	0.0	33	0.0
自己株式	△9,574	△2.6	△9,362	△2.5	△9,574	△2.7
資本合計	157,060	44.0	171,176	45.6	160,282	45.0
負債、少数株主持分及び資本合計	356,997	100.0	375,751	100.0	356,309	100.0

第3四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間 (自 平成17年3月1日 至 平成17年11月30日)		前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成16年3月1日 至 平成17年2月28日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
営業収入	142,277	74.4	152,870	75.2	189,873	74.6
加盟店からの収入の対象となる加盟店売上高は次のとおりであります。 前第3四半期 957,835百万円 当第3四半期 988,549百万円 前連結会計年度 1,265,275百万円 直営店売上高との合計額は次のとおりであります。 前第3四半期 1,006,369百万円 当第3四半期 1,038,448百万円 前連結会計年度 1,329,077百万円						
売上高	48,979	(100.0) 25.6	50,302	(100.0) 24.8	64,522	(100.0) 25.4
営業総収入	191,256	100.0	203,173	100.0	254,395	100.0
売上原価	35,463	(72.4)	36,350	(72.3)	46,818	(72.6)
売上総利益	(13,515)	(27.6)	(13,952)	(27.7)	(17,703)	(27.4)
営業総利益	155,792	81.4	166,823	82.1	207,576	81.6
販売費及び一般管理費	121,331	63.4	130,695	64.3	164,635	64.7
営業利益	34,461	18.0	36,127	17.8	42,941	16.9
営業外収益	1,040	0.5	1,071	0.5	1,377	0.5
営業外費用	1,778	0.9	1,210	0.6	1,996	0.8
経常利益	33,723	17.6	35,987	17.7	42,322	16.6
特別利益	352	0.2	1,039	0.5	245	0.1
特別損失	3,243	1.7	4,738	2.3	6,528	2.5
税金等調整前第3四半期（当期）純利益	30,832	16.1	32,289	15.9	36,040	14.2
法人税等	13,374	7.0	13,459	6.6	15,367	6.1
少数株主利益	215	0.1	521	0.3	237	0.1
第3四半期（当期）純利益	17,242	9.0	18,307	9.0	20,435	8.0

第3四半期 連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日)		当第3四半期 連結会計期間 (自 平成17年3月1日 至 平成17年11月30日)		前連結会計年度の 要約連結剰余金計算書 (自 平成16年3月1日 至 平成17年2月28日)	
	金 額		金 額		金 額	
(資本剰余金の部)						
資本剰余金期首残高		41,521		41,523		41,521
資本剰余金増加高						
自己株式処分差益	1	1	—	—	1	1
資本剰余金減少高						
自己株式処分差損	—	—	3	3	—	—
資本剰余金第3四半期末(期末) 残高		41,523		41,520		41,523
(利益剰余金の部)						
利益剰余金期首残高		72,769		76,721		72,769
利益剰余金増加高						
第3四半期(当期)純利益	17,242	17,242	18,307	18,307	20,435	20,435
利益剰余金減少高						
配当金	5,775		8,174		5,775	
土地再評価差額金取崩額	5		2,182		5	
自己株式処分差損	—		15		—	
自己株式消却額	10,703	16,485	—	10,373	10,703	16,485
利益剰余金第3四半期末(期末) 残高		73,528		84,656		76,721

第3四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第3四半期 連結会計期間 (自 平成16年3月1日 至 平成16年11月30日)	当第3四半期 連結会計期間 (自 平成17年3月1日 至 平成17年11月30日)	前連結会計年度の 要約連結キャッシュ ・フロー計算書 (自 平成16年3月1日 至 平成17年2月28日)
	金額	金額	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前第3四半期（当期）純利益	30,832	32,289	36,040
減価償却費	14,113	15,159	19,633
退職給付引当金の増加額	431	760	663
固定資産除却損	1,967	2,000	2,761
減損損失	—	1,876	—
受取利息	△262	△287	△355
その他の収益・費用（純額）	△31	△329	4,312
売上債権の減少額（△：増加額）	6,934	△1,421	8,123
未収入金の減少額（△：増加額）	3,274	2,337	△745
仕入債務の増加額	10,436	8,463	2,097
未払金の減少額	△7,877	△2,751	△4,919
預り金の増加額（△：減少額）	△404	7,432	△3,476
預り保証金の減少額	△943	△670	△1,034
その他の資産及び負債の増減額（純額）	△1,510	△1	△503
小計	56,960	64,856	62,597
利息の受取額	262	285	349
利息の支払額	△10	△7	△13
法人税等の支払額	△15,606	△19,315	△15,605
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,606	45,819	47,328
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の取得による支出	△26,287	△40,513	△34,319
有価証券の償還による収入	20,525	25,060	35,545
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△585	—	△585
有形固定資産の取得による支出	△18,312	△20,401	△26,710
無形固定資産の増加額	△2,204	△5,853	△2,691
その他（純額）	△2,917	△4,072	△4,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,780	△45,779	△33,297
財務活動によるキャッシュ・フロー			
自己株式取得による支出	△8,797	△1	△8,798
配当金の支払額	△5,775	△7,971	△5,775
その他	736	195	737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,836	△7,777	△13,836
現金及び現金同等物の増加額（△：減少額）	△2,010	△7,736	195
現金及び現金同等物の期首残高	76,389	76,584	76,389
現金及び現金同等物の第3四半期末（期末）残高	74,379	68,847	76,584